

令和6年度 北区地域づくり応援団事業助成金交付事業一覧

【20万円上限】

No	事業名	提案団体	事業目的	事業内容	助成金額	採択/不採択
1	地域シルバー世代のスマホ使いこなし支援	スマサポ	高齢者施設等からの依頼を受けて、初心者向けスマートフォン講座を請け負う等のボランティア活動を通じて、シルバー世代のITリテラシーの向上により地域全体の情報格差が減少することを目的としている。	<p>①初心者スマートフォン講座の請負い 初めて学ぶアプリや操作でも、利用するシーンがイメージできるような具体的な事例を伝え、実習は基本的にマンツーマン形式で行い、受講生が安心して学べるサポートに徹した指導を行う。</p> <p>②初心者向けスマートフォン相談会の請負い準備 シルバー世代の操作の躰きは、様々なため、相談会が有効であると思われる。同じく高齢者施設、自治会、シニアクラブとも協議しながら、相談会の請負を探っていく。下期より月一回程度を目標に検討を進める。</p> <p>③新たな教材の開発会議の開催 講座、相談会などを通じて得られるニーズに応えるため、毎月定例会議を開催し、新たな教材を作成する。</p>	200,000	採択
2	つながろう つなげよう ぽっぽコンサート2024	ねこの手	誰でもが気軽に行かれる近くの会場で、地域の観客や演奏者、スタッフも皆で楽しめるコンサートを開催する。開催時のみならず過程も含め、地域の人々が顔見知りを増やし、交流や親睦を深めていくことを目的とする。	<p>①「つながろうつなげようぽっぽコンサート2024」の開催 東田端ふれあい館や新町コミュニティアリーナなど地域の会場を確保し、プロの演奏者や地域の音楽グループなどが演奏するコンサートを開催する。年度の前半にプロの演奏者に依頼し。後半には「令和5年度地域づくり応援団事業つながろうつなげようぽっぽコンサート」の実施によりつながった個人やグループ・団体にも出演や協力を依頼する。</p> <p>②ボランティアスタッフや演奏者、音楽グループと共に内容等を検討する 運営に参加してくれるボランティアスタッフ(団体や個人)を募り、年間で3回以上はコンサートを実施していく。各回の定員は会場の広さ・出演者の人数、また感染症対策の必要性によって決めるが、60~80人を考えている。 ボランティアスタッフや演奏者、音楽グループと皆でコミュニケーションを取りながら、コンサートの準備を進め、交流・親睦を図っていく。</p>	200,000	採択
3	さくらんぼの赤ちゃん食堂	さくらんぼ食堂	離乳食が始まり、何かと悩み多い保護者むけに実施。子どもには離乳食、保護者には軽食を提供。親子で集まり、離乳食づくりのヒントを伝え、アドバイザーを交えて悩み解消につなげる。	<p>赤ちゃん食堂の開催 孤立しがちな育児の応援をするために、実施。離乳食が始まったころの赤ちゃん二人きりだと気持ちも減入りがち。そんな時に同じような境遇の親子と出会う場の提供、離乳食づくりコツやヒントを体得してもらおう。(技術的な育児支援)たまには食事作りから解放されてのんびりと実家に帰ったつもりで食事を食べてもらおう。(心理的な育児支援)また、助産師や保健師、栄養士など専門家の立場からアドバイスを貰えるような情報収集のきっかけになるとよいと願う。毎回、離乳食づくりの専門栄養士に同席してもらい疑問や不安なことなどの解消に努める。</p>	200,000	採択